



ご挨拶

## 第51回全国大会開催にあたって

大会実行委員長 中垣昌美

来る10月11日(土)から10月13日(月)までの三日間、大阪府羽曳野市丘陵に位置する四天王寺国際仏教大学を会場として、第51回全国大会を開催することになりました。本学に人間福祉学科を設置して五周年をむかえたことを契機に、本年より大学院人文社会学研究科人間福祉学専攻博士前期・後期課程を同時に設置発足いたしました記念すべき年に、4,000人余の会員を擁するまでに発展した本学会の第51回大会というビッグな勝縁に恵まれたことは、誠に意義深いことでもあります。まさに、世紀のアカメディカルパノラマに邂逅する絶好の機会となることでしょう。

しかし、この学会の超肥大化は、全国大会開催の基本的な問題にも触れるような実態が顕著に露呈化し、共同研究発表の分科会独占化をはじめ、会員連座型報告や顔見せのインスタント型発表の増加に加えて、業績造りのための複数学会への焼き増し型発表等々、種々さまざまな様相が伺えます。また、大会当日参加の不特定会員も増加する傾向にあり、出席数の予想も困難になりそうです。このことから当面の問題解決策として、今回の大会参加費と当日参加費の値上げをさせていただきます。伏して、良識ある会員のご理解とご協力をお願いすることとさせていただきます。

半世紀を経て51歳になった本全国大会は、21世紀の社会福祉変革とニューディールの時代を担う学会として正しく見据えておかなければならないものは何かが、きびしく問われています。それはまさに「21世紀社会福祉の価値と倫理」であると言えます。同時に宗教と社会福祉のかかわりというよりも、科学と宗教との関係を考えることの重要性を見据えることが最大の課題であります。従来、宗教は意味や価値にかかわり、科学は歴史的社会的な事実の確認にかかわるものと考えられてきましたが、現在では宗教と科学の次元の違いを前提にしながらも、改めて両者の関係を問う哲学が求められています。事実の意味や価値を問わざるをえないところに現代社会福祉研究の課題があり、ソーシャルワークの実践が位置づけられているといえます。同時に、現代の生命倫理や環境倫理の問題もその具体的なあらわれと受けとるべきものであり、避けて通れない課題であることを確認できる大会であればと願うものであります。

21世紀の社会福祉研究のさらなる発展に向けて可能な限りの成果を積み上げて頂きますよう期待し、日本仏教福祉の原点ともいべき羽曳野の丘への賑々しいご参集を心からお待ち受けいたしております。

合掌

# 日本社会福祉学会

## 2003年度第1回理事会

- ・2003年7月21日(月)13時より
- ・東洋大学4号館3階会議室
- ・出席者 別紙

- ・大坂 譲二 会員
- ・窪田 暁子 会員

### (1) 会長挨拶

日本学術会議も大きく変わろうとしているが、社会福祉界も他分野からの競合が多くなってきているため、他分野に通じる学会運営をしていく必要があり、またそのような学会の発展も期待されている。

### (2) 審議

第1号議案 第51回大会(四天王寺国際仏教大学)について

- ・ほぼ順調に進行しているが、大会申し込み者は、まだ317人、懇親会申し込み者は、100人未満。このような状況で、大会本番の数を推定し、要旨集を印刷するのは、困難。
- ・韓国の招待者は、本年度はシンポジウムの発表者2人であるが、韓国学会会長が正式の訪問者に加わる。

第2号議案 第52回学会創立50周年記念大会(東洋大学)について

- ・実行委員長 古川孝順会員
  - ・事務局長 秋元美世会員
- と決定し、事務局が資料を集める段階。

第3号議案 第53回大会(2005年度)について

- ・東北福祉大学が引き受けていただいた。

第4号議案 2002年度事業および会計監査報告報告を了承(詳細は、総会議案書および次号学会ニュースに掲載予定)

第5号議案 2003年度補正予算(案)

- ・案を了承(詳細は、総会議案書および次号学会ニュースに掲載予定)
- ・学会創立50周年記念事業および学会賞創設のため特別会計を新たに設置する。

第6号議案 2004年度事業計画および予算(案)案を了承(詳細は、総会議案書および次号学会ニュースに掲載予定)

第7号議案 名誉会員の推挙(案)

規約により、下記の会員を10月12日に開催する学会総会に名誉会員に推挙することが了承された。

第8号議案 「日本社会福祉学会理事及び監事選出規則」の改正(案)

- ・来年度の役員選挙の際の地方部会担当の理事の選出方法を変更することに伴い、「地方担当理事がその地方担当からはずれた地方に移動になった場合」を考え、「次点のものを繰り上げることができる」という文を新たに入れた。
- ・次点者が何人かいる場合もあるので、選挙管理委員長があらかじめ、順位を決めておくこととする。

第9号議案 学会創立50周年記念事業

実行委員会委員に前回6人を了承したが、会長にも参加していただくことを了承。

50周年記念式典・シンポジウム

- ・「記念式典等」は「記念式典 シンポジウム パーティ」の予定だったが、「シンポジウム 記念式典 パーティ」とし、パーティに出席していただき易くする。
- ・会場の都合で、2会場に別れるが、どちらの会場に入場するかは先着順とする。
- ・パーティはアトラクションはおこなわず、招待者および会員相互の研究交流、懇談の場とすることを主とする。

学 会 賞(案)

- ・学会創立50周年を契機に下記の学会賞を設置し、その前年に発表された優れた研究業績の顕彰および若手研究者の研究を奨励する。
  - ・学会賞(単著を対象)
  - ・奨励賞(共著および共同執筆論文も対象とするが、First Authorであることを条件とする)
- ・第一回についてのみ、対象論文を2002年、2003年と対象を広げる。
- ・授賞式は、各年度の学会総会において行う。
- ・審査は、任期3年の審査委員が行う。

『学会50年史』(仮)(案)

- ・会員向には、割引で販売する。
- ・タイトルは、副題に「学会50周年」と入れ、メインタイトルは別途考える。
- ・過去の写真がないので、「目で見る」50年ができない。

第10号議案 機関誌について

電子図書館サービスへの登録について

- ・運用責任者・・・編集委員長
  - ・「著作権」が日本社会福祉学会にあることを機関誌『社会福祉学』に記述し始めたのは、41巻(2000年)からなので、41巻から電子図書館に登録をしたい。
- 苦情窓口の設置について  
編集委員会の外に異議に対応する窓口を設置する。
- ・委員は、白沢、大友、井岡理事。
  - ・内容について等は編集または内規で、次回の理事会で提案する。

第11号議案 会費の振り込み方法について

会費の引き落としは、いくつかの会社の話および学会会員ソフトの開発見積をしているが、まだ、しばらく、研究を継続したい。

第12号議案 入会資格審査基準について

- ・入会の説明書に所属ブロックは、原則「所属先」で分かれる事、外国人の捺印は省略できること、を入れる。
- ・ホームページに「入会申し込み書」と「記入説明書」ということで掲載する。
- ・「履歴書の提出」は簡単なもの。
- ・入会申込書も検討する。

第13号議案 会員名簿作成について

来年度の役員選挙の選挙人名簿(会員名簿)を作成する際、会員相互の交流手段とプライバシー保護の観点より、下記を決定した。

- ・氏名・所属先・所属先住所(電話等々)は全員載せる。
- ・自宅(住所・電話等々)は希望により載せないことを選択できる。

第14号議案 会員入会審査

195名入会承認。(氏名は4頁に掲載)

第15号議案 不明会員の退会承認

学会ニュースやホームページで同じ人について何度か「不明会員」の呼びかけをしているが、反応のない64名について退会者扱いとする。(不明者なので「退会通告」は本人には出来ない)

第16号議案 事務所整備

従来、日本社会福祉士養成校協議会、社会事業学校連盟、日本地域福祉学会との4団体で事務所を借りていたが、日本地域福祉学会と2団体で借りる案が出ている。年100万円ほどかかるので、会費の値上げも考えられる。

第17号議案 その他

倫理委員会報告

- ・「倫理委員会報告」に意見をほしい。来年の総会で決定し、「指針」または「規約」としたい。
- 「英文誌」著者校正の段階。

報告事項

学術会議

秋には社会福祉・社会保障研連が無くなり、連絡機関として、日本社会福祉学会が学協会の纏め役としていなくてはならない。

機関誌『社会福祉学』執筆要綱

「要綱11」の変更および「査読報告書」の一部変更

「ソーシャルケアサービス研究協議会」報告他

会 長	大 橋 謙 策	
副 会 長	宮 田 和 明	
特別委員会担当理事 (機関誌担当理事兼任)	秋 山 智 久	
総務担当理事	白 澤 政 和	
庶務担当理事	大 友 信 勝	
渉外担当理事	黒 木 保 博	
渉外担当理事	牧 里 每 冶	
研究担当理事	井 岡 勉	
研究担当理事	鬼 崎 信 好	
研究担当理事	山 崎 美 貴 子	
研究担当理事	阿 部 實	欠
機関誌担当理事	岩 田 正 美	
機関誌担当理事	米 本 秀 仁	
北海道担当理事	松 井 二 郎	
東北担当理事	高 澤 武 司	欠
関東担当理事	福 山 和 女	
中部担当理事	中 田 照 子	
関西担当理事	上 野 谷 加 代 子	
中四国担当理事	中 嶋 和 夫	欠
九州担当理事	碓 川 眞 旬	
監 事	右 田 紀 久 恵	
監 事	三 浦 文 夫	欠

▼オブザーバー

坂本 峰徳 (四天王寺国際佛敎大学事務局長)

中垣 昌美 (四天王寺国際佛敎大学・51回大会実行委員長)

鈴木 壽恵 (四天王寺国際佛敎大学・51回大会事務局長)

▼事務局 小林 萬里子



## 新入会員 (195名) 2003年度第1回理事会承認

青木 一郎  
特定非営利活動法人チャーム  
姉崎 正平  
安齋 芳高  
李 基平  
井川 淳史  
生安 衛  
石川 愛一郎  
石黒 景子  
石田 賢哉  
横浜市西部地域療育センター  
伊藤 順子  
伊藤 直子  
伊藤 良大  
井上 恒男  
今村 利香  
岩城 雅人  
岩本 健一  
岩本 操  
上田 衛  
榎木 亜希  
榎木 真寿郎  
榎木 梅田  
榎木 幸二  
大出 眞生  
大内 幸恵  
大倉 正臣  
太田 ことすえ  
大津 雅之  
東京都立大学大学院  
大畑 千恵  
大村 聡子  
岡田 朋子  
愛知新城大谷短期大学  
  
小川 裕子  
荻野 基行  
日本福祉大学大学院  
尾崎 剛志  
日本社会福祉士会  
  
柿本 由美子  
郭 素榮  
郭山 摩子弥  
片岡 優子  
加藤 貴久  
加藤 由貴子  
中部学院大学大学院  
姜 昌熙  
金 美辰  
金 珉呈  
木本 明  
大阪人間科学大学  
小池 環  
耕田 昭子  
木暮 紀子  
児玉 志保  
小西 祐馬  
小町 喜則  
後藤 芳郎  
齋藤 隆之  
齋藤 美江子  
酒井 久美子  
境 保子  
坂田 温志  
坂本 馨  
坂元 新吾  
櫻井 真一  
佐々木 智城  
佐藤 千晶  
佐藤 寿一  
佐藤 浩央  
佐藤 みゆき  
佐藤 裕司  
篠原 由利子  
東洋大学大学院  
島田 和生  
地域ケア福祉研究所  
院  
秦 雅彬  
新保 祐光  
杉野 隆亮  
鈴木 佳代  
鈴木 由美子  
鈴木 理恵  
炭谷 靖子  
徐 光子  
高木 博史  
高桑 有花  
高杉 公人  
高橋 誠一郎

花園大学大学院 青木 理恵子  
浅川 典子 東京女子医科大学  
第一福祉大学  
徳山大学  
東京都立大学大学院  
東海福祉情報刊行専門学校  
兵庫県健康生活部児童課  
日本福祉大学大学院  
日本福祉大学大学院  
大正大学大学院 一瀬 早百合  
伊藤 和子 愛知江南短期大学  
日本福祉大学大学院  
福岡県立大学大学院  
小田原循環器病院  
同志社大学大学院  
鹿児島大学  
知的障害者通所授産施設第二あじさい園  
滋賀県立淡海学園  
国際医療福祉大学  
鶴見大学短期大学部  
北九州保育福祉専門学校  
同志社大学大学院  
福岡県立久留米筑水高等学校  
明星大学  
日本福祉大学大学院  
東京都立大学大学院  
神奈川県身体障害者連合会  
北海道大学大学院  
花園大学大学院 大塚 理加  
大塚 良一 立正大学大学院  
中部学院大学大学院  
大阪府立大学大学院  
立教大学大学院 岡本 浄実  
小川 智子 城西国際大学  
  
長崎純心大学  
立正大学大学院 奥田 佑子  
幸野 孝昭 四天王寺国際立教大学  
佛教大学大学院 小笹 知彦  
落合 雄彦 龍谷大学  
  
神戸市社会福祉協議会須磨在宅福祉センター  
流通経済大学大学院  
横浜国立大学  
福岡県立大学大学院  
京都福祉専門学校  
淑徳大学大学院 可児 祐代  
神谷 良子 関西学院大学大学院  
日本福祉大学大学院  
東海大学  
北海道大学大学院 雲井 弘幸  
黒木 利作 皇學館大学大学院  
日本社会事業大学大学院  
明治学院大学  
国立成育医療センター  
関西学院大学  
北海道大学大学院  
呉大学  
中部学院大学大学院  
国際医療福祉大学院  
砂町友愛園  
同志社大学大学院  
熊本学園大学大学院  
大阪ハイテクロノジー専門学校  
福井県立大学大学院  
中部学院大学大学院  
  
北海道医療大学大学院  
昭和女子大学大学院  
宝塚市社会福祉協議会  
早稲田大学  
北海道社会福祉協議会  
九州リハビリテーション大学  
平安女学院大学 柴崎 知恵子  
柴田 純一 東洋大学大学院  
立正大学大学院 島田 千穂  
志村 舞 東海大学医学部附属病  
白石 義彦 宇部フロンティア大学  
日本福祉大学大学院  
国立水戸病院  
流通経済大学大学院  
Ohio State University  
聖隷クリストファー大学  
日本福祉大学大学院  
富山医科薬科大学  
  
立正大学  
梅花女子大学大学院  
アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部  
エンジェルサポートセンター

高橋 順子  
高林 正洋  
竹下 徹  
日本福祉大学大学院  
武田 真由美  
多田 裕二  
田中 康雄  
谷口 泰司  
谷村 和秀  
種子田 綾  
民秋 言  
崔 珍姫  
崔 誠祐  
茶屋道 拓哉  
張 貞京  
大阪府立大学大学院  
椿 俊典  
鶴 宏史  
霧谷 知恵  
勅使河原 薫  
寺尾 尚  
富板 友美  
東京福祉大学大学院  
鳥山 まどか  
土居 伸生  
中村 直樹  
中村 教子  
中村 房代  
昭和女子大学大学院  
  
長瀬 正子  
新名 隆宏  
西 章男  
大阪商業大学  
新田 秀樹  
札幌学院大学  
狭間 直樹  
橋爪 幸代  
流通経済大学大学院  
長谷川 美枝子  
秦 康宏  
波田 英治  
畑本 裕介  
花岡 勇気  
濱田 佐知子  
林 ゆかり  
樋下 邦子  
日野 あすか  
日比野 美玲  
平出 友久  
平川 茂  
平川 泰士  
晝間 文子  
深谷 祐  
福本 幹雄  
藤島 薫  
藤田 久美  
船津 敦子  
古本 尚樹  
白 先レ  
堀 信宏  
堀内 啓子  
堀場 純矢  
東海大学  
マーレー 寛子  
北海道大学大学院  
松井 ゆかり  
ワークス  
松岡 佐智  
真野 典子  
三谷 千賀子  
三橋 晶一  
宮内 寿彦  
東京都立大学大学院  
  
村井 政人  
村上 満  
村嶋 邦彦  
守田 美意子  
白十字八国苑  
諸橋 麻紀  
安田 誠人  
山口 真里  
山田 知明  
横山 さつき  
吉田 祐一郎  
吉中 季子  
凌 淑チエン  
渡邊 浩文  
和田 典子

北海道大学大学院  
日本福祉大学大学院  
岐阜大学大学院 竹添 展  
武田 英樹 賢明女子学院大学  
多文化共生センターひょうこ  
関西学院大学大学院  
関西学院大学大学院  
姫路市役所  
中部学院大学大学院  
岡山県立大学大学院  
白梅学園短期大学  
大阪市立大学大学院  
関西学院大学大学院  
鹿児島国際大学大学院  
大木会 もみじ寮 張 允楨  
土屋 政伸 熊本学園大学大学院  
福岡県立大学大学院  
神戸親和女子大学  
日本福祉大学大学院  
東京福祉大学大学院  
函館大谷短期大学  
岐阜大学大学院 外山 太一  
樋田 幸恵 高崎健康福祉大学  
北海道大学大学院  
中部学院大学大学院  
東北福祉大学大学院  
日本福祉大学大学院  
東海大学大学院 中山 節子  
仲山 佳秀 立正大学  
  
大阪府立大学大学院  
熊本学園大学大学院  
大分大学大学院 西 敬尚  
西梅 幸治 京都府立大学大学院  
大正大学 新田 雅子  
根本 多之 流通経済大学大学院  
同志社大学大学院  
上智大学大学院 橋本 学  
長谷川 里子 精華女子短期大学  
長崎純心大学大学院  
ひらかた聖徳園介護センター  
聖和大学  
慶応義塾大学メディアコミュニケーション研究所  
中部学院大学大学院  
四天王寺国際立教大学  
熊本学園大学大学院  
愛知県農業協同組合中央会  
大阪教育大学大学院  
中部学院大学大学院  
尚毛医療福祉専門学校  
四天王寺国際立教大学  
熊本学園大学大学院  
関西学院大学大学院  
トレント大学大学院  
高野山大学  
東京福祉大学大学院  
山口県立大学  
東京福祉大学  
北海道大学大学院  
同志社大学大学院  
中部学院大学大学院  
長崎純心大学大学院  
岐阜大学大学院 本名 靖  
  
平安女学院大学 瑪依拉 買買提  
前川 寛子 日本福祉大学大学院  
蟹江福祉会知的障害者授産施設かえ  
  
福岡県立大学大学院  
大阪府豊中府民健康プラザ  
日本福祉大学大学院  
流通経済大学大学院  
西日本短期大学 宮崎 富美路  
宮本 ひとみ 長崎純心大学  
  
北海道大学大学院  
フォレスト八尾会あわらの里ふれいホーム  
熊本学園大学大学院  
東洋大学大学院 森田 佳子  
  
柏葉脳神経外科病院  
滋賀文化短期大学  
京都府立大学大学院  
日本福祉大学大学院  
中部学院大学短期大学部  
中部学院大学大学院  
大阪府立大学大学院  
同志社大学大学院  
日本社会事業大学大学院  
近畿福祉大学



# ブロック活動

各ブロックの活動をご紹介します

## 北海道部会

### 1. 北海道社会福祉学会第410回大会・総会の共催

開催日：2002年11月30日(土)

会場：北海道立社会福祉総合センター特別会議室

プログラム：午前 自由研究課題発表

高齢者の健康寿命保持に関する基礎的研究

～離島高齢者の健康習慣と社会関連性指標を中心に～

北海道医療大学大学院 松浦智和

札幌東徳洲会病院医療相談室 板東貴志

北海道医療大学看護福祉学部 志水 幸

ソーシャルワーカーの価値観が自己決定援助にどのように影響するか

道都大学社会福祉学部 花澤佳代

福祉サービス評価を軸としたアドボカシーシステムの方向

特別養護老人ホーム聖芳園 石川秀也

地域生活支援サービスにおけるコンサルテーション

厚別ケアサービスステーションかいけつ太郎

松坂 優

社会福祉施設におけるコンサルテーション

～母子生活支援施設でのかかわりをとおして～

母子生活支援施設トキワの森・道都大学

小銭寿子

日本社会福祉学会50年誌編纂について

法政大学現代福祉学部 杉村寿之

午後 記念講演

「地域生活支援と社会福祉の動向」

滋賀県甲賀郡地域生活支援センター

所長 牛谷正人

### 2. 学会誌「北海道社会福祉研究第23号」の発行

発行日：2002年12月20日

## 東北部会

### 1. 研究大会の実施

平成14年11月9日(土)福祉会館(岩手県盛岡市)にて第2回東北部会研究大会を開催した。

研究大会の内容(プログラム)は以下のとおりである。

基調講演1 宮澤賢治の「イーハトーブ」

岩手県立大学社会福祉学部教授 佐々木民夫

基調講演2 「東北」という地域特性に根ざした社会福祉研究は成り立つか

岩手県立大学社会福祉学部教授

(前日本社会福祉学会理事) 佐藤 嘉夫

### 【自由研究報告】

1. 介護保険制度におけるケアマネジャーの実態  
大和田猛(青森県立保健大学)

2. 余暇活動参加に関する障害者の主観的評価についての事例研究 ～キャンプ実践を通して～  
南條正人(仙台大学)

3. 福祉サービスと利用者の権利擁護としての苦情解決制度～福祉リスクマネジメントの視点から～  
菅原好秀(東北福祉大学)

4. 痴呆性高齢者グループホームにおける入居者家族との関係について  
高橋英成 中村将洋 佐藤樹美  
(盛岡社会福祉専門学校)

5. 地域福祉計画を想定した社会福祉調査の事例  
都築光一(弘前学院大学)

### 2. ニュースレターの発行

2回(8月と3月)発行した。内容として、第2回研究大会の案内(8月)と第2回研究大会の報告(3月)を中心に東北部会活動の紹介を行った。

3. 東北部会会員アンケートの集約と報告書の作成  
昨年度(平成13年度)実施した日本社会福祉学会東北部会会員のアンケートの集約を行った。

4. 東北部会の研究報告書等の発行に向けての準備  
研究報告書等の性格づけなどを検討し、刊行に向けての準備を行った。  
平成14年度においては、第2回研究大会の報告書の作成を行った(基調講演「宮澤賢治のイーハトーブ」岩手県立大学教授佐々木民夫)。

5. 幹事会の開催(5月、11月)

## 関東部会

### 1. 運営委員会・総会

第1回 4月27日

第2回 6月 8日

第3回 9月28日

第4回 3月23日

総会 3月23日

### 2. 研究集会

「実践の科学化、研究方法論の構築を目指して」を統一テーマとして、小規模・参画型の2回の研究集会を実施した。

第1回研究集会：11月30日(土) 参加者約70名  
テーマ：

「社会福祉実践から＜支援費制度＞を考える」

ゲストスピーカー：立教大学・赤塚光子氏、神



奈川県障害福祉課・栢谷篤氏、愛成学園・片山泰信氏、

コメンテーター：厚生労働省障害福祉専門官・山口和彦氏

第2回研究集会：3月23日 参加者約30名

テーマ：「社会福祉研究・実践の飛翔を目指してー20世紀の実践からどう離脱するか・その具体化のための提言」

話題提供者：東洋大学・森田明美氏、東海大学・北島英治氏

### 3. 会報

会員への情報提供・周知のために2回発行。

会報18号7月6日発行、会報19号

2月14日。Eメール発信を試み、親学会のHPに掲載した。

### 4. 研究論文集

研究論文集「社会福祉学評論」第3号

2月28日発行。ISSN取得中部部会 事業報告

## 中部部会

### (1) 春の例会

開催日：2002年4月20日(土)午後から21日(日)

会場：中京大学八事校舎

プログラム：20日：総会(全国理事会報告/2001年度事業報告ならびに会計報告/2002年度中部部会幹事/2002年度事業計画(案)並びに予算(案))

20日：自由研究課題発表 分化会に別れて9発表、60名の参加者

21日：シンポジウム 参加者45名  
共通論題「ソーシャルワークの今日的課題と新たな方向性をめぐって」

#### 基調報告

「ソーシャルワークと現代社会」

高森敬久会員(金城学院大学)

シンポジウム「変貌する社会と社会福祉実践」

シンポジスト

赤星俊一氏(元半田市社会福祉事務所)

丹羽典彦氏(愛知県社会福祉協議会)

日江井幸治会員(前三重県北勢児童相談所)

黒木信之氏(名古屋第二赤十字病院)

コーディネーター

大野勇夫会員(日本福祉大学)

竹中哲夫会員(日本福祉大学)

### (2) 秋の例会

開催日：2002年11月30日(土)

会場：中京大学八事校舎センタービル

共通テーマ「ソーシャルワークの固有性とは何か：ソーシャルワーカーのアイデンティティと教育」  
基調講演 「ソーシャルワークの固有性とは何か：英国の動向から考える」

川田誉音さん(日本福祉大学)

### シンポジウム

「ソーシャルワークの固有性とは何かソーシャルワーカーのアイデンティティと教育」

### シンポジスト

穴戸明美さん(中部学院大学) /

「Who We Are」社会福祉実践教育現場での混迷」

川島貴美江さん(静岡県立大学短大部) /

「ソーシャルワークのアイデンティティにどう気づくか 専門職養成と資格養成の間で考える」

柴田謙治さん(金城学院大学) /

「コミュニティワークを教える マイナーさへのアイデンティティとことばにすべきこと」

安井理夫さん(同朋大学) /

「医療・保健・福祉の連携とソーシャルワーク資格制度と人間観の視点から」

### コーディネーター

高森 敬久会員(金城学院大学)

小松理佐子会員(中部学院大学)

## 関西部会

1. 理事会(4回)

2. 役員会(4回)

3. 年次大会

(総会・シンポジウム・研究報告会含む)

2002年度関西社会福祉学会研究大会

『21世紀社会福祉の課題と展望』 価値・政策・方法

日時：2003年3月1日(土)午前10時30分～

場所：堺市総合福祉会館(堺市社会福祉協議会)

協賛：堺市社会福祉協議会

### プログラム

午前：研究報告会

「小地域福祉活動における高齢者支援の役割」

介護保険制度導入後のとりくみから

神戸市総合医療介護福祉専門学校

松本 しのぶ

「イギリス・対人社会サービスと高齢者福祉」

消費者主権を視点として

大阪市立大学大学院後期博士課程

山田 亮一

「障害者・児施設のサービス共通評価基準の実践的検討」

桃山学院大学大学院社会学研究課研究生

潮谷 光人

午後：総会及びシンポジウム

タイトル：『21世紀社会福祉の課題と展望』 価値・  
政策・方法

コーディネーター

上野谷 加代子（桃山学院大学教授）

コメンテーター

池田 敬正（京都府立大学名誉教授）

岡本 民夫（関西社会福祉学会 会長、同志社  
大学教授）

シンポジスト

桂 良太郎（奈良大学教授）

：社会福祉と価値

～アジアから学ぶ、ユニバーサル・ヒューマ  
ン・ライツ～

上掛 利博（京都府立大学教授）

：社会福祉と政策

～「福祉を創る」ことの今日的意味～

白澤 政和（大阪市立大学教授）

：社会福祉と方法

～ケアワークとソーシャルワーク～

関西社会福祉学会研究大会においては、大阪府堺市社会福祉協議会と協賛を行い、大会を開催した。今回のねらいは、社会福祉における価値・政策・方法の意味について改めて考え、学びあうことを目的とした。当日は130名を越える方が参加した。午前中は、現場実践者及び若手研究者からの報告を行い、多くの方から意見をいただいた。また午後はシンポジウムを開催し、多様な視点からの報告と会場からの活発な意見交換が行われ、有意義な研究大会となった。

## 4. 事務局会議（適宜開催）

（関西担当理事 上野谷加代子）

**中四国部会**

## 1. 第34回中国四国部会大会の開催

（2002年7月27日、於：聖カタリナ大学）

大会テーマ：21世紀の児童福祉

(1) 大会長挨拶：下田正（聖カタリナ大学）

(2) 基調講演

テーマ「日本における児童虐待の現状と課題」

高橋重宏（日本社会事業大学）

テーマ「韓国における児童虐待の現状と課題」

林千萬（韓国啓明大学）

(3) シンポジウム

（社会福祉事業学校連盟中国四国ブロック共催）

テーマ「社会福祉で問われる専門性」

シンポジスト

「当事者の視点から」

山本博之（聖カタリナ大学）

「医療ソーシャルワーカーの視点から」

渋谷久美（心臓病センター榊原病院

ソーシャルワーカー）

「施設経営者の視点から」

大野明良（社会福祉法人福角会理事長、  
聖カタリナ大学名誉教授）

(4) 自由研究発表 6報告

(5) 日韓学術交流セミナー 5報告

## 2. 総会の開催

（2002年7月27日、於：聖カタリナ大学）

3. 第34回大会抄録集の発行（2002年11月15日）

4. 会報の発行

（2002年5月15日、2002年11月15日）

**九州部会**

## 1. 運営委員会

7月20日 第1回運営委員会

（福岡市福祉プラザ）

11月27日 第2回運営委員会

（日本社会事業大学）

## 2. 第43回九州部会大会・総会

（西南女学院大学）参加者91名

開催日：2002年12月14日（土）

メインテーマ：サービス評価の在り方を考える

会場：西南女学院大学

(1) 自由研究発表 第1～5分科会 24題

(2) 基調講演

テーマ：「サービスの質を評価すること

- 福祉と医療 -」

中島 誠（九州大学大学院助教授）

(3) シンポジウム

テーマ：「サービス評価の在り方を考える」

コーディネーター：鬼崎信好（福岡県立大学）

コメンテーター：中島 誠（九州大学）

シンポジスト：渡辺正孝

（介護老人福祉施設 ひびき荘）

高田芳信

（老いをささえる北九州家族の会）

高田照男

（北九州市保健福祉局監査指導課）

杉原好則

（西南女学院大学）

## 3. 九州部会運営委員選挙

運営委員：

細井勇（福岡県立大学）/ 岡田和敏（西南女学院大学）/ 倉田康路（西九州大学）/ 坂本雅俊

（長崎国際大学）/ 宮崎俊策（熊本学園大学）/

田畑洋一（鹿児島国際大学）/ 久手堅憲一（沖

縄大学）/ 硯川真旬（熊本大学）/ 鬼崎信好

（福岡県立大学）/ 秋山智久（第一福祉大学）

地区担当理事は運営委員を兼ねる。

（文責 硯川真旬）



## おたずね

下記の方は郵便物(会費請求書、学会誌、学会ニュース等)が返送されてきているため、連絡がとれていません。学会のホームページにも掲載しております。ご存知の方は、本人にご連絡くださるか事務局までご連絡ください。

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 相澤 朋子  | 同志社大学大学院          |
| 阿部 昌子  | 町屋在宅高齢者通所サービスセンター |
| 天羽 浩光  | 鹿児島国際大学福祉社会学部     |
| 新井 茂光  | 特別養護老人ホーム豊幸の郷石井   |
| 李 宣英   | 韓国ルーテル神学大学        |
| 李 美善   | 東京都立大学大学院         |
| 飯田 裕美  | アイビエ医療福祉専門学校      |
| 田中 久二  | 福岡県立大学大学院         |
| 石井 由紀  | トロント大学            |
| 上原 紀子  | 九州大谷短期大学          |
| 宇田 祐子  | 日本社会事業大学大学院       |
| 石村 洋子  | 県立広島女子大学大学院       |
| 大岡 実勝  | 日本社会事業大学大学院       |
| 岡部 由紀  | 千葉県社会福祉協議会        |
| 金子 太朗  | 帝京平成大学            |
| 土上 子子  | 川崎医療福祉大学大学院       |
| 川上 公代  | 九州福祉衛生専門学校        |
| 菊田 英子  | 関東学院大学大学院         |
| 菊島 明菜  | 仙台医療福祉専門学校        |
| 金 修正   | 金城大学              |
| 金 炫英   | 関西学院大学大学院         |
| 草間 夫雄  | 桜花学園大学            |
| 栗栖 吉昭  | 東北福祉大学            |
| 小池 登美子 | 社会福祉法人寿栄会 北東京寿栄園  |
| 後藤 深雪  | 大正大学大学院           |
| 坂井 玉子  | 同志社大学大学院          |
| 本山 玲子  | 淑徳大学大学院           |
| 山藤 恭子  | Sahmyook Univ.    |
| 谷 光人   | (財)松下政経塾          |
| 市 賢理   | 九州保健福祉大学          |
| 嶋 佐子   | 医療法人 新生病院         |
| 神木 亜美  | 京阪社会福祉専門学校        |
| 張 嘉元   | 北海道共同募金会          |
| 徐 秀    | 埼玉県立大学            |
| 高井 葉子  | 山梨県立女子短期大学        |
| 高須 真紀子 | 医療法人敬愛会 中頭病院      |
| 高田 映   | 立正大学大学院           |
| 高橋 玖美子 | 桃山学院大学大学院         |
| 崔 赫    | 淑徳大学大学院           |
| 崔 東日   | 立教大学大学院           |
| 林 新    | 関西学院大学大学院         |
|        | 日本社会事業大学大学院       |
|        | 淑徳大学大学院           |
|        | 京都府立医科大学法医学教室     |
|        | 城西国際大学            |
|        | 筑波大学大学院           |
|        | 医療法人萌気会           |
|        | 高崎健康福祉大学          |
|        | 韓国江南大学            |
|        | 桜美林大学大学院          |
|        | 日本社会事業大学大学院       |
|        | 立正大学大学院           |

- |           |      |
|-----------|------|
| 手塚 理繪     | 繪子代白 |
| 直江 章和     | 真久世子 |
| 中嶋 真繁     | あゆみ  |
| 中島 永七     | 尾真白  |
| 鍋谷 美恵     | 美子   |
| 西貫 哲彦     | 文香   |
| 野尻 美保     | 久雄   |
| 畑下 加守     | 由美   |
| 濱原 真由     | 博子   |
| 原島 博      | とも子  |
| 原田 亮子     | 裕子   |
| 引野 H.Yoon | 好子   |
| 藤井 好弘     | 弘子   |
| 藤島 智敏     | 俊子   |
| 藤古 管一     | 郎    |
| 丸丸 正      | ひとみ  |
| 益田 純子     | 章    |
| 松浦 倫子     | 司    |
| 真鍋 佳美     | 由美   |
| 向出 亜泰     | みほ   |
| 森川 山崎     | 山本   |
| 山崎 湯川     | 順子   |
| 湯川 賢淑     | 恵子   |
| 雪 光       | 廷    |

- |                      |
|----------------------|
| 川口市新郷老人介護支援センター      |
| 国際医療福祉大学             |
| 若手敬和会 青山和敬荘          |
| 淑徳大学大学院              |
| 立正大学大学院              |
| 博仁会                  |
| 北海道大学大学院             |
| 佐賀短期大学               |
| 日本福祉大学大学院            |
| 南海福祉専門学校             |
| 西九州大学                |
| 社会福祉法人親愛の里           |
| 和歌山県立医科大学看護短期大学部     |
| 静岡県立大学短期大学部          |
| 倉重クリニック              |
| ルーテル学院大学             |
| NTT東日本関東病院           |
| 至誠学舎サンメール尚和          |
| 呉大学看護学部              |
| Hallym University    |
| 聖十字福祉専門学校            |
| 東北福祉大学大学院            |
| 総合研究大学院大学            |
| 淑徳大学大学院              |
| 東洋大学大学院              |
| 日本福祉大学大学院            |
| 新見公立短期大学             |
| 京都大学大学院              |
| PL学園女子短期大学           |
| 長崎純心大学大学院            |
| わたつみ会知的障害者更生施設わたつみの里 |
| 日本福祉大学               |
| 日本大学歯科学部心理学研究室       |
| 山形大学教育学部政治学研究室       |
| 京都YMCA国際福祉専門学校       |
| 北海道リハビリテーションセンター     |
| 淑徳大学大学院              |
| 関西学院大学大学院            |
| 桜美林大学大学院             |

## 編集後記

日本社会福祉学会第51回大会テーマ「21世紀社会福祉の価値と倫理」をなぜ設定したのか。中垣昌美大会実行委員長が巻頭言でその意義を述べています。

学会理事会は第51回大会の成功にむけた取り組みと共に、学会創立50周年事業の準備に入っており、学会賞設置、学会50年史(仮)の発刊等を進めています。また、学会活動の活性化に向け、機関誌発行を年3回とし、苦情窓口の設置を検討しています。会員規模の拡大から、ブロック活動が重要になっており、各ブロックの活動紹介を載せました。来年の役員改選から地方担当理事が選出されます。(大友信勝)

## 事務局連絡

...住所を変更された方は至急電子メールかFax、はがきで届けてください。大会案内等重要なものがメール便で配達する場合に返送されることが多くなっています。

...『戦後社会福祉の総括と21世紀への展望』全4巻(各巻3500円)を一括購入の場合2割引き、送料660円、計11860円で頒布しています。お申し込みは、Eメール、Fax、はがきで事務局まで。

...機関誌『社会福祉学』への論文投稿締切りは、次回は、12月末(消印有効)ですが、投稿資格は、前年度までに会員になった方(2003年3月までに入会)のみ、また今年度の会費もお支払い済みの会員のみです。

発行人	大橋 謙策	<b>学会ニュース 34号</b>
編集人	白澤 政和	
発行日	2003年9月25日	
発行	日本社会福祉学会	
	〒160-0008 東京都新宿区三栄町8	
	森山ビル西館501	
	TEL.03-3356-7824 FAX.03-3358-2204	
	Email jsssw@jt2.so-net.ne.jp	
	URL http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssw/	
	(8月末現在会員数 4,570人)	